

平成24年度

事務事業評価表(平成23年度の実績評価)

記入年月日

平成 24 年 4 月 1 日

事務事業名		坂戸幼稚園運営事業				区分		事務事業No.	30143101
						<input type="checkbox"/>	分野別主要事業	課内No.	1
		政策体系上の位置付け				<input type="checkbox"/>	未来プロジェクト事業	事務事業主管課	
政策体系	総合計画の施策名	301 学校教育の充実				<input type="checkbox"/>	市長マニフェスト事業	所属部	教育委員会
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり			<input type="checkbox"/>	合併建設計画事業	所属課	やまと坂戸幼稚園 31
	施策名	1	学校教育の充実			<input type="checkbox"/>	新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	課長名	鈴木 孝
	基本事業名	4	幼児教育の充実			<input checked="" type="checkbox"/>	単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業	グループ	坂戸幼稚園
		財務会計上の位置付け				事業期間		担当者名	椎名 洋子
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計		<input type="checkbox"/>	単年度のみ
	1	10	4	1	2	坂戸幼稚園事業		<input checked="" type="checkbox"/>	単年度繰返し ( 20 年度～ )
法令根拠						<input type="checkbox"/>	期間限定複数年度( 年度～ 年度)		

【Do】 1. 事務事業の現状把握

期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

**【事務事業の内容】**  
市内に在住する4歳～5歳の幼児を土日・祝祭日を除く平日にお預かりして、8時15分から15時まで幼児教育を実践します。具体的には、健康、人間関係、環境、言葉、表現の5つの領域について学びます。

**【担当者が行う業務の手順】**  
幼稚園教育要領に基づき、幼児期にふさわしい環境の中で、遊びを通して自主性や創造性を育て、義務教育及びその後の教育の基礎を培う。

**【事業費の内訳】**  
賃金(臨時教諭)、報償費(講師謝礼、記念品代)、備品費、需用費等が使われている。

(1) 事務事業の目的

①手段(23年度 実際に行った主な活動)	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	単位
幼稚園教育要領に基づき教育課程を編成し、授業週案を作成し、幼児と共に遊び、職員会議で振り返り、研修に参加するなどの幼児教育を実践した。		ア 登園日数	日
		イ 教育週数	週
		ウ 教育時間	時間
		エ	
②対象(誰、何を対象にしているのか)	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
園児を対象に、部屋で器具や設備を使う。		ア 就園児数	人
		イ	
		ウ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	単位
個々の幼児に応じた教育領域を身に付ける。安全・安心に使用できる状態		ア 教育領域を身に付けた幼児の割合	%
		イ 故障件数	件
		ウ 事故件数	件
④結果(どんな結果に結び付けるのか)	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
円滑な園の運営をする。		ア 円滑な運営をすることができた園	園
		イ	

(2) 指標値の推移

区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	28年度	期間限定 総投入量
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	(計画)	(目標)	
⑤活動指標	ア 日	194	195	200	200	200	200	200	
	イ 週	38	40	40	40	40	40	40	
	ウ 時間	1,222	1,228	1,228	1,228	1,228	1,228	1,228	
	エ								
⑥対象指標	ア 人	12	12	17	21	21	21	23	
	イ								
	ウ								
⑦成果指標	ア %	100	100	100	100	100	100	100	
	イ 件	2	3	2	4	1	1	1	
	ウ 件	0	0	0	0	0	0	0	
⑧上位成果指標	ア 園	1	1	1	1	1	1	1	
	イ								

(3) 投入量(事業費)の推移

区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	28年度	期間限定 総投入量	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		使用料・手数料	千円	663	669	939	1,207	936	934	930	
		その他	千円								
		一般財源	千円			2,214	3,589	3,307	3,300	3,290	
	事業費計(A)	千円	663	669	3,153	4,796	4,243	4,234	4,220	0	
人件費	正職員	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
		人件費計(B)	千円	12,580	12,119	12,162	12,162	12,162	12,162	12,162	
トータルコスト(A)+(B)		千円	13,243	12,788	15,315	16,958	16,405	16,396	16,382		

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

坂戸幼稚園の開園以来、この事業は継続している。少子化傾向が続いているが、園児のいる限りは継続が必要。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

公立の幼稚園が3園あり、登園方法がそれぞれ違っている。監査委員からは不公平感について指摘されたことあり。

事務事業名	坂戸幼稚園運営事業	事務事業No.	30143101	所属課	やまと坂戸幼稚園
-------	-----------	---------	----------	-----	----------

【See】 2. 評価の部 \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目		
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) 個々の幼児に応じた教育領域を身に付けている。	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) 義務教育ではないが、公立幼稚園の使命は国が目指す幼児教育に最も近い立場で取り組むことができる。	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?) 対象・意図とも現状で適切である。	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) 当該年度の成果は100%達成できたが、研究協議することにより、成果の向上余地はある。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 公立の幼児教育機関が無くなる。幼稚園は義務教育ではないので、幼児教育の一貫性が損なわれる。	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所との連携の動きがあるが、条例・施設等の関係により、今すぐには連携できない。	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 現在職員2名での年少・年長クラスを持つての運営であり、削減余地はない。	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?) 事業費は、報酬、賃金、報償費、需用費などで、削減余地はない。	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) 入園料、授業料、給食費を徴収しており、応分の負担をいただいている。	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3) 今後の事業の方向性																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持																						
(3)-1 改革改善策																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項